

地域情報誌
2012年4月
(No2)

DEすかね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会



まちづくり・ひとづくり講座が開催されました！

3月10日(土)に、須金農村環境改善センターで、まちづくり・ひとづくり講座が開催され、地区内外から多くの方が参加されました。

当日は、福岡県八女市星野村の土居元さんの講演をはじめ、鹿野の劇団「わ」の公演、須金と星野村の特産品販売、デザイン広場など様々な催しにより、会場はまちづくりへの想いで熱気に包まれました。

人物紹介・福田孝弼さん

Q1 小さい頃はどんな少年でしたか？

6人兄弟の長男で、どんなことにも負けず嫌いな性格で、一生懸命勉強もしましたし、かけっこも速かった記憶があります。ただ、唱歌だけは、“甲”がもらえませんでした。(笑)

Q2 現役時代、役所の職員として印象に残っていることは？

戦後のシベリア抑留から帰国後、須金村の職員となり、都濃町、徳山市時代と思い出はたくさんあります。特に、高村

坂彦市長から任命された商工観光課長の時には、当時企業しか出展していなかったふるさと物産展で農林展を合わせて開催し、市長に大変褒められたこと。そして、競艇場での第1回花火大会の開催、駅前商店街のアーケード化を手掛けたことなども思い出深いです。

Q3 御年90歳。元気の秘訣を教えてください。

「読む」、「書く」、「歩く」は毎日しています。あと、人生観として“オームの法則”を持っています。電流(I)は電圧(E)を抵抗(R)で除して出ます。何事にもなるべく抵抗を少なくし、電圧(=やる気)を出して、電流(=成果)を高められるよう努力しています。

Q4 これから須金はどんな地域として発展していったらいいですか？

地域づくりに長期計画は必要ですが、必ずしもそうなるとは限りません。前向きに、その時その時にみんなで考え、修正していけるような地域であってほしいと思います。そして、周南市の北の玄関口として、自然が溢れ、住民が元気に暮らしていける地域として、これからも発展していくことを願っています。

(インタビュー：須金公民館 周山健太郎)

人物紹介



★福祉コーナー★ 《地域包括支援センターを知っちゃって?》

Q1 何するところ？

- ・生活に関する相談に応じてくれます(無料)

Q2 どんな相談ができるの？

- ・介護、健康、福祉サービスの相談、申請
- ・悪質な訪問販売での被害
- ・「どこに相談するのか分からない」とき
- ・ご本人、家族、地域の皆さんも相談できます

Q3 何処にある、連絡先は？

- ・徳山医師会病院の西館一階にあります 電話 32-9035
民生委員が連絡することもできますのご相談ください

(文/須金地区民生児童委員協議会 広実文博)

「田舎くらしの家 すまいる」が完成しました。

この家は、田舎くらしを希望される方に、地域住民と交流しながら滞在してもらおうことで、須金への移住・定住を考えてもらうために整備しました。利用者に会われたら温かいお声掛けをお願いします。

運営者：生きがいのある須金をつくる会

住所：須万2519-2

利用料金：

【7日以内】 15,000円

【8日間から14日間】

15,000円に1日につき2,000円を加算した額

申込先：須金支所



「DEすがね掲示板」 始めます

- ・こんなもの探しています！
- ・こんなサークル作ります！
- ・こんな活動始めました！

などなど

皆様の自由な告知、交流スペースとして利用してください。申込は須金公民館 周山(すやま)まで

TEL 0834-86-2201

FAX 0834-86-2145

Welcome! Sugane!

よろしくお願ひします！



石引さんご一家が上市に引っ越して来られました。



ふれあいプラザ須金



4月からふれあいプラザ須金はオープンいたします。ぜひご利用くださいませ！

営業日：金曜日～月曜日

営業時間：10時から16時まで

雑貨（豆腐・アゲ・こんにゃく・日用品・ドリンク）

休憩コーナー（お茶のサービス・ケーキセット）

皆様のお越しをお待ちしております。

◎宅配便も扱っております。ご利用下さい。

仕出しの注文受け賜ります。
ご自宅まで配達いたします。
一週間前までにご注文下さい。
3,000円より（みなど亭）



ふれあいプラザ須金

電話 86-2000 FAX 86-2010

須金地区主な行事予定（4～5月）

4月

- 4月6日（金）・地区歓送迎会
- 4月7日（土）・大津島交流会（大津島）
- 4月9日（月）・小学校始業式
- 4月13日（金）・須磨小学校地域参観日
・狂犬病予防集合注射
及び犬の登録
- 4月14日（土）・やまびこ号巡回日（須磨小）
- 4月23日（月）・コミュニティ理事会

5月

- 5月1日（火）・やまびこ号巡回（須磨小）
- 5月3日（木）・農ganic Festa
（ふれあいプラザ）
- 5月14日（月）・コミュニティ総会
- 5月19日（土）・やまびこ号巡回日
- 5月27日（日）・周南市議会議員一般選挙

★イベント情報★

5月3日（木）、ふれあいプラザ周辺にて「農ganic Festa」が開催されます。
自然体験、食文化、環境啓発活動、村おこしを「農業」と有機的に結びつけたエコイベントです。詳細は別途、お知らせいたします。
皆様、是非遊びに来てください。

須金せせらぎ短歌会～今月の一首～

缶拾ひに集ひし人皆着膨れて
火ばさみを手に霜を踏みゆく
山縣佳代子（下市）

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報紙は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。
須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

秋月丸の謎 その二

文 高橋 勝己

壇ノ浦の合戦（1185年）の後、秋月丸は都から父を訪ね、壇ノ浦まで旅をしてきたとのことでした。すでに源氏が権力を握り、平家を弾圧していたときであり、平家の一門であるとわかれば、捕らわれ、抹殺された時代でした。そんな中、何人もの家来を連れて、壇ノ浦まで旅をすることは至難の業であったに違いありません。身分を隠し、仮の名を使って旅をしたことは想像できます。はたして誰の名をかたったのでしょうか？旅の道中、幾度も源氏方の家臣などから呼び止められ、尋問されたことでしょうか。検問もあったでしょう。そこでうまく言い逃れるには？ そう、彼らの上役である源氏の身分をかたるのが一番良かったのではないのでしょうか。中納言であった源雅頼は秋月丸にとってうってつけの名前だったのではないのでしょうか。・・・

この地（須万）で出会う平家の落武者、広実左近頭らにだけ本当の身分を明かし、一生、源氏の子として生きたのではないのでしょうか。

さて、では秋月丸の本当の父親は誰だったのでしょうか？謎が深まります。



写真：写真：平家の八人塚（長谷姥ヶ峠）秋月丸と共に旅をし、この地に訪れた家来の墓といわれる

編集後記

桜、いや梨の花が舞い散る季節となりました。春といえば新しい出会い、本誌もたくさんの須金人（須金が好きな人）に読んでもらえるようがんばります。須金に住んでいなくても心は須金人ってひと集まれ～（福田陽一）